

HACHIMAN
Kawara-ban
HONOBONO-Tsushin

八幡堀と町衆の434年の道のり

通信 八幡堀界隈

瓦 かわら 版

2019 Vol.52

船頭がご案内する手漕ぎ和舟

ご予約は0748-36-5115
情緒ある手漕ぎ和舟でゆったり
船頭がご案内する八幡堀めぐり

豊臣秀次公は文武両道の人物
秀次失脚事件全体に様々な推測があり、陰謀説など諸説が議論されておき、現在でも実情は不明です。
秀次の補佐役を任された前野長康は弁明に奔走し、また石田三成も秀次助命のために、秀吉に「秀次公は無実であること」を直訴したとされていますが、秀吉は高野山へ追放の上に切腹させました。
秀次は無能な武将として見られていますが、秀次の主たる失敗はわずか16歳の時の小牧・長久手の戦いの敗戦の一度だけであり、その後の紀伊・四国攻め、小田原征伐での山中城攻め、奥州仕置などでは武功を上げ、政務においても山内一豊、堀尾吉晴らの群臣に支えられた結果だとしても、補佐もあって無難にこなしてききました。
秀次が本格的に統治を行った近江八幡では、町割など行政活動を積極的に行い発展させ、近江八幡では相応の力量はあり、文武両道の人物であったと言われています。
秀次のある秀次は古典の収集に励み、これを保護しました。小田原征伐後、奥州に赴いた秀次は中尊寺の大蔵経を接収してこれを持ち帰りました。このほかにも足利学校や金沢文庫所収の書籍をも持ち帰っています。また、かねてから収集していたとみられる『日本紀』『日本後紀』『続日本後紀』『文徳実録』『三代実録』『類聚三代格』『実了記』『百練抄』などを朝廷に献じています。秀次は古筆を愛し、多くの公家とも交流を持つ当代一流の教養人でもありました。天正16年以前に『源氏物語』を写させて所持していました。学問の上達ぶりを賞賛する公家の手記も現存します。
養父の三好康長は茶人としても有名で、連歌でも秀でていました。秀次も養子に入ってから父の習い、茶道や連歌を嗜む教養人でありました。15歳の頃から著名な歌人の集まる連歌会に名を連ね、亭主も務めたこともありました。上記の古典収集や文芸に秀でていたという公家の日記や、その他の史料の上からも文化的素養を持つ人物として秀次像を十分に再評価できるため、太田牛一（おたぎゅういち）は、武將、官僚、『信長公記』などの軍記と伝記の著者の著書以後に広まった極端に粗暴な人物というイメージは間違いであると反論できます。この反論の中では太田牛一以前には暴虐な振る舞いを示すような史料がなく、著書の影響で世間の秀次に対する見方が変わったことが強調されます。一般に秀次は千利休の弟子だったと言われており、神屋宗湛・津田宗及・利休らと茶会を同席していました。また秀吉より（利休流）台子点前の秘伝を受けた台子七人衆の一人に秀次も数えられています。
秀吉をまねて秀次も能楽を自ら演じるようになりましたが、彼は公家・禅僧らに命じて最初の謡曲の注釈書である『謡抄』（うたいしょう）を編纂させ、後世の文芸に大きな影響を与えました。
秀次事件のとき、秀吉古参の家臣である前野長康、さらには木村重茲、渡瀬繁詮など多くの人物たちが秀次の無罪を主張し、『五宗記』によれば、石田三成も秀次を弁護しています。また、家臣・小姓からは殉死者も多く出しており、別に徳のない人物ではなく、家来から見放されたようなことはなかったのです。
キリスト教宣教師たちは秀次を「この若者は叔父（秀吉）とはまったく異なっており、万人から愛される性格の持ち主であった。特に禁欲を保ち、野心家ではなかった」「穏やかで思慮深い性質である」などと記しています。（ルイス・フロイス『日本史』など）また、秀次にはキリシタンではなかったかという説もあります。秀吉と同じく「男色を嫌っていた秀次を学んだ」とい、切腹の際の介錯ができるだけの腕前があったといわれています。刀剣の鑑定も行った形跡もありました。このほか吉田重氏から日置流弓術を、荒木元清からは荒木流馬術も学んでいました。剣術試合を見世物として楽しみ、聚楽第で兵法者の真剣の試合を催すことがありました。秀次所用と伝わる「朱漆塗矢筈札細糸素懸威具足」（じゅうしゅりぬりやはずさねごんじょうしちご）が、山ノ内（山ノ内）に所有されていました。『今村押形』の第2巻13丁裏は「前野白秀次公ヨリ武藤長門守拜領之」と金象嵌銘（きんそうがんめい）のある村正作の打刀の押形を載せています。『南庵大閤記』にも、秀吉の遺物として堀内阿波守、赤松上総守、加賀井弥八郎の3名に村正が与えられるなど、複数の村正作の刀剣が登場する試し斬りについて、小林千草の仮説では、秀次は秀吉の多数所持していた名刀の鑑定を任されており、名刀鑑定体制の中で試し斬りを行っていたのではないかと、言われています。いずれにせよ秀次公は殺生閑白と言われる様な人物ではないのです。



参考資料／ウィキペディア NPO法人秀次倶楽部／秀次公顕彰

2019年
10月12日(土)

会場 八幡堀周辺と町並み一帯
時間 18:00 ~ 21:00

有料施設の無料開館（一部を除く）や非公開施設の特別公開など
楽しい町並みと灯りの祭典です。

時代劇の町と言われる古（いにしえ）の町並み近江八幡。
灯りに照らされる八幡堀や町並み、八幡山から眺める近江八幡の夜景、かわらミュージアムの夜間特別開館、町家の公開やコンサートなどなど。
近江八幡に初めてお越しになる方も長年住んでいる市民も、きっと、このまちの魅力や風情を感じて頂けると思います。

各施設等で
催しやコンサートが
開催されます

八幡堀 まつり

令和を彩る
第22回
近江八幡灯り事業
町並みと灯り

スタンプラリー

- スタンプを6個以上押された方は、白雲館にて粗品をお渡しいたします。（お一人につきご本人限り一回のみ）
- 粗品は 先着200個ご用意しています。数がなくなりましたら終了しますので、ご了承ください。
- 当スタンプラリーは2019年10月12日(土)の当日限りとします。

旧 伴家住宅 (八幡教育会館)

市立資料館

あきんど道商店街 (仲屋町通り)

妙法寺

アンドリュース記念館2F

奥村家住宅

かわらミュージアム

しみんふくし 滋賀 野間清六邸

ボーダレス・アートミュージアム **NO-MA**

※スタンプラリーマップや会場マップは白雲館や各会場にあります。

パーク&バスライド実施
シャトルバス運行

公共交通機関での移動が困難など、やむを得ずマイカーでお越しの方は市役所臨時駐車場(旧市民病院跡)へ駐車しシャトルバスをご利用ください。
料金 / 1台につき 300円(シャトルバス利用の場合)
市役所臨時駐車場 ↔ 市営小幡観光駐車場

10月12日 16:00~21:30

八幡堀まつり サポーター 大募集!!

日時 10月12日(土) 14:00~22:00頃
※少しの時間だけでもOK!

場所 八幡堀周辺、新町周辺

内容 主に点灯準備、配置、消灯、回収まで

参加者にはオリジナル記念品プレゼント!

お問い合わせ・お申込は、下記「近江八幡観光物産協会」まで
当日参加も可能ですが、準備の都合上、なるべく事前にお申込ください。その際、お手伝いいただける時間帯をお知らせください。

〒523-0864 滋賀県近江八幡市為心町元9番地1(白雲館内)
TEL 0748-32-7003 <https://www.omi8.com>

主催 / (一社)近江八幡観光物産協会 後援 / 近江八幡市・八幡堀を守る会・近江八幡市連合自治会・radio・(一財)近江八幡地域勤労者福祉サービスセンター

皇室献上 不老長寿の霊果

むべ狩り

11月/1・2・3・4・8・9・10
(金) (土) (日) (月) (金) (土) (日)

前出のむべ園 9:30~15:00
季節限定体験予約賜われます!

入場料 1,000円(大人) 500g
500円(小学生以下) お土産付

申し込み 前出のむべ家
むべ畑の中の看板が目印です→
滋賀県近江八幡市津田町
TEL 0748-36-1600
080-2523-9692

「メルヘンときのこ」

場所 すみれラボ (近江八幡市中村町 20 番地)
日時 10月30日(水)~11月4日(月) 10:00~17:00
sonokinoko.com

Sumire Lab.
すみれラボ

株式会社ダイゴ・たねや様
プーマラン通り
●至近江八幡駅
●ひさご寿し様
●JR琵琶湖線近江八幡駅北口徒歩7分

〒523-0894 滋賀県近江八幡市中村町 20 番地
(株)ダイゴ本社ビル1F TEL0748-33-4181
お問い合わせ: 総務部 中川まで



お誕生日・記念日 花束プレゼント (10月の方) 3名様

※必ずお誕生日を明記下さい

花王アタック1キロ8個入り (1ケース) 5名様

[トマトカード番号の記入をお願いします]

- * ショーン・タンの世界展 どこでもないどこかへ
美術館「えき」KYOTO ジェイアール京都伊勢丹7階隣接 10月14日迄 30名様
- * 没後60年 特別展 北大路魯山人 古典復興—現代陶芸をひらく—
滋賀県立陶芸の森陶芸館 12月1日迄 30名様
- * 秋季特別展 THE 備前 土と炎から生まれる造形美
MIHO MUSEUM 12月15日迄 30名様
- * 京都新聞スクラップブック「星をみつめて」 10名様

ご希望の方は郵便番号・住所・氏名・電話番号・希望の品一品をご記入の上、官製はがき又はFAXで下記販売所まで、ご応募下さい。抽選でお送りします。

締切

花束 洗剤、チケット等 9月30日迄

▶ 当選者の発表は発送をもって代えさせていただきます。予めご了承ください。

応募先 〒523-0867 近江八幡市魚屋町元9 京都新聞近江八幡販売所 TEL 32-2743 FAX 32-3504

トマト倶楽部 応募先 〒523-0867 近江八幡市魚屋町元9 京都新聞近江八幡販売所 TEL 32-2743 FAX 32-3504

「八幡開町の日」記念事業①

子ども武者行列

雨天中止

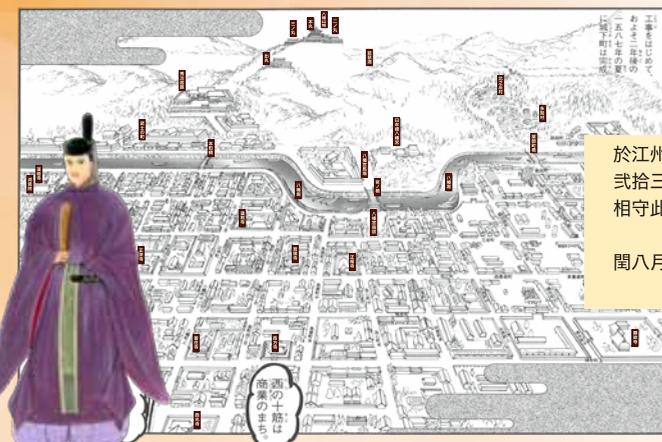
近江八幡開町の祖「豊臣秀次」を学ぼう!

10月12日(土)

イベント広場
 <子ども遊び広場> 近江八幡商工会議所女性会
 ◎射的 ◎輪投げ etc 16:00~20:00
 みたらし団子/ポップコーン・フランクフルト他
 【コンサート】ハーモニックス17:00~18:00
 ニコル19:00~19:30



10月15日を「八幡開町の日」としましょう!



「秀次まつり」が市民の皆様と共に開催される日を目指します!

於江州所々自分貳拾万石併其方相付候宿老共当知行貳拾三万石相加目録別帯在之都合四拾三万石宛行畢相守此旨国々政道以下堅可申付者也
 羽柴秀吉 (花押)

閏八月廿二日
 羽柴孫七郎殿

朱印状

読み下し
 「江州所々において、自分二十万石併せてその方相い付けそうらう宿老ども当て知行二十三万石あい加え目録別紙これあるとおり都合四十三万石あてがいおわんぬ。この旨相守り国々政道以下堅く申しつくべきものなり」

「八幡開町の日」記念事業②

「秀次談義」

10月15日(火)

開演 午後5時~
 (4時30分 開場受付)

場所 市立資料館
 2階会議室

- ◆基調講演「八幡山城と秀次」
 講師：太田浩司氏 (長浜市学芸専門監)
- ◆パネルディスカッション
 パネリスト：成澤和道氏 (一財ハートランド推進財団)
 烏野茂治氏 (近江八幡市役所)
 コーディネータ：井戸洋 (NPO法人 秀次倶楽部)

定員：先着40名様
 秀次倶楽部事務局へお申し込みください

主催：NPO法人 秀次倶楽部 〒523-0837 近江八幡市大杉町 30-1
 (問合せ先) Tel 0748-33-2914 (担当：高木)

後援：近江八幡市・(一財)ハートランド推進財団・(一社)近江八幡観光物産協会
 近江八幡商工会議所女性会・近江八幡観光ボランティアガイド協会